

夏休みをご家族でどのように過ごされましたでしょうか。非日常的な経験をすると、それは楽しい記憶として子どもに長く残ります。日本やアメリカ国内を旅行したり、友達とプールで泳いだり、家族でキャンプをしたりしたことは、楽しい思い出になると思います。本校の夏期講座では勉強もたくさんしますが、子どもたちが喜ぶ様々な企画で一杯です。子供たちの記憶に残る素晴らしい夏期講座となるようにと願っています。

思春期の子どもについて悩む保護者の中で、「この子には反抗期が全くなかった。手が掛からない子なのですが、それがかえって心配です」と言われる方がいらっしゃいます。反抗期に重要な意味があることを考慮すると、「反抗期がない」というのは気になる現象ではありません。核家族化や家父長制度の消失、家族関係の変容という時代の変化に伴い、反抗期が見られなくなったと、10年ほど前から指摘されています。例えば、中学生を対象にした調査の結果、家族間の良好なコミュニケーションが保たれていることが分かりました。総じて、親子関係が良好な中学生が多く、第二反抗期的な陰険な親子関係ではなく、仲の良い親子関係が見られるとのこと。こうした現象については、全面的に健全な親子関係とみなされるより、「自立の遅れ」や「未成熟な親子関係」として否定的に扱われることもあります。

しかし、反抗期の有無だけに注目し、その可否を論じるのは短絡的かもしれません。反抗期のないことが心配である場合と、そうでない場合が考えられます。まず、反抗期がなくても問題がない場合について考えてみましょう。

例えば、早い時期から親が子どもの人格を認め、「対等な大人」として扱ってきた場合がその一つです。こういう親子の間には、子どもが思春期に入る前に親子の関係がすでに「一人の人間同士の対等な関係」に移行しているの、わざわざ反抗する必要がないのです。また、次のようなケースもあります。兄弟の親への反抗が凄まじく、その反抗により傷ついたり悲しんだりしている親の姿を目の当たりにすることで、「自分は親を悲しませたくない」という思いから、良好な関係を築くよう努力していたということもあります。この場合も兄弟の反抗を観察学習することによって、親子の縦関係が横関係に変容を遂げたと考えられます。同様に、親が病弱で「親に反抗するなど考えられない」「自分が早く大人になって、親を守ってあげたい」という思いを抱きつつ成長した際にも、親子関係が横並びに変容したといえるでしょう。

一方で、気になるのは、子ども時代の親子関係を温存したまま（つまり縦関係のまま）で、思春期・青年期を超え、成人期に入ってもそのまま続くというケースです。子どもが小さい間は、親が子どもを守り養育する必要があります。しかし、子どもが自立すべき年齢になってもそれが続いている場合、それは子どもにとっては「やさしい暴力＝支配」となり、自立に必要な翼をもぎ取ってしまうこととなります。親や子どもという個人的な事情を超えて、少子化社会がいつまでも子どもを保護し続けることを可能にし、関係の変容を遅らせている現状が関係していると思われる。

しかし、いつまでも親子関係が「支配・服従」を含む縦関係にある場合、その関係にもいつかは破綻が訪れます。例えば、子どもが成人期に入り結婚し独立しようとしたときに、親子の縦関係が強いと、自らの配偶者との横関係が上手く築けなくなることは、良く知られています。また、自分が親になった時、自分が親から受けてきた「支配」を意識せずに我が子に対して行ってしまおうというパターンもあります。いずれにせよ、親子の関係が良好な形で（縦から横へ）結び変えられていないならば、その後の人生の中で「問題」が起こり、互いの関係を結び変える作業をしなければならなくなります。このように考えると、反抗期があるかないかではなく、親子関係が縦関係から横（対等な人間対人間）の関係に変えられているかどうかか鍵といえるでしょう。

親子関係が、縦関係の「上」にいるべき親が子どもの位置までおりてきて「友だち」になる場合があります。それは好ましい関係ではありません。子どもが問題に巻き込まれたとき、親が冷静に判断することができなくなる可能性があります。また、子どもとの関係をこじらせたくないという不安から、子どもを叱ったり注意したりできず、そういう躰け機能を他者（例えば学校）に丸投げしてしまう家庭もあります。子どもの要求をすべて呑むことで親子関係に波風は立ちませんが、気が付くと「子ども」が暴君と化してしまい、親にはどうにもならない状況に陥ってしまうケースもあります。こうした、「未熟な子ども同士」という低位置で友だち関係に留まっている場合、親は「親離れ・子離れ」という絶好の機会を握りつぶしているだけでなく、子どもの（ぶつかっていく）エネルギーや、厳しい社会の仕組みを学ぶ機会を奪ってしまうこととなります。後者のパターンでは、親は子どもと同じ地平で波乱のない毎日を送れる

学校カレンダー

◇7月15日(月)

夏期講座:1学期後期前半開始

◆7月26日(金)

大学進学セミナー

◇7月29日(月)

夏期講座:1学期後期後半開始

◇8月12日(月)

休み

◇8月13日(火)~16日(金)

事務オープン期間

◇8月19日(月)

2学期開始

◆9月2日(月)

レイバー・デイのため休校

◆9月3日(火)

日程調整のため休校

◆9月13日(金)

日能研主催学校説明

◆9月20日(金)

国際基督教大学付属高校
説明会

◇9月27日(金)

ひまわり組:進学説明会

◇10月18日(金)

小6:中学部進学説明会

◇10月21日(月)

願書配布開始:内部用

◇10月31日(木)

願書締め切り:内部用

かもしれませんが、子どもが成長するのに必要な「生きた壁」とはなりえず、親としてなすべき「躰け」や「教育力」を放棄した対応が、「反応（反抗）しなくてもいい状況」を作り、「反抗できない子」を生んでしまっているといえるでしょう。 校長 小谷 仁

運動会

5月は気温が上がらず、練習中も肌寒い天気が続きました。また雨が降る日もあり、運動会当日が心配でした。しかし、素晴らしい天気のもと、涼しい風も吹き、恵まれた運動会が出来たことを神様に感謝しました。子どもたちは全力を出して競技に取り組みました。それは清々しい気持ちを見ている者に与えてくれました。運動会は誰にとっても良い行事だとあらためて認識しました。

また、片付けには多くの生徒と保護者の皆さんに手伝って頂き、教職員は大いに励まされました。皆さんに感謝いたします。

三育リユニオン報告

6月30日(日)に原宿にある中央教会でリユニオンが開かれました。あいにくの雨の中にも拘わらず、140名ほどの方々が集まってくださいました。中には翌日期末試験を控えている高校生、子ども連れのお母さんになった元生徒たち、さらには前日に日本から本帰国したばかりの方々、一時帰国の方々、大阪から新幹線で駆け付けた方々などリユニオンを待っていたと言わんばかりの盛況でした。懐かしい教職員として、石原喬先生、歌原花子先生、前木久里子先生、新村光代先生が来てくださり、懐かしい話に花が咲きました。

現在の三育のビデオが流されると、新しいキャンパスをご存じない方々も多かったにもかかわらず、懐かしさの余り涙する方々もおられ、改めて三育の存在がどれだけ大きかったかを認識されたようでした。後半の歓談の時間には旧交を深める場面が多々あり、そこで懐かしく出会った方々がそこからまたお食事にと別れていかれる姿がありました。3時間ほどのプログラムでしたが、参加した教職員も大きく励まされる時間となりました。(参加した教職員による報告)

学校訪問報告

今年度も、夏期休暇を利用して教員たちは日本の学校を訪問しました。そこで、卒業生たちとも会ってきました。皆、元気に学校生活を楽しんでいる様子でした。訪問した学校は、国際基督教大学付属高校、啓明学園、都立三田高校です。

日本に帰国されるときに、上記の学校への入学に興味のある方は、お知らせください。詳しい情報を差し上げられます。

日本での研修

教師たちは夏期休暇を利用して日本に一時帰国した際に、それぞれの場所で研修を受けてきました。学んだことを保育・授業に生かし、夏期講座以降の保育・授業がさらに充実したものとなるようにするつもりです。

夏期講座（1学期後期）

夏期講座はカリキュラムの構成上1学期の一部となっています。2週間という期間ですが、小・中学部では通常の授業の2ヶ月分の内容をカバーします。学習の中身も濃いですが、みんなで汗を流しながら遊ぶ休み時間、おいしいお弁当、楽しい特別学習と、子供たちは素敵な時間を過ごします。子供たちが早寝早起きの習慣を夏休み中に身に付けて、充実した夏期講座を迎えることが出来るようにお願いいたします。

また、本校は物理的に制限の多い中で、できるだけ教室が涼しくなるように努めています。ご家庭でもお子様の体温を下げる工夫(多量の水やクールタオル cooling towel を持たせるなど)をしてくださると助かります。

事務室のスケジュール

夏期講座より2学期開始までのスケジュール：休日、勤務時間など

7月15日(月)～8月9日(金)	・・・8:45am～4:00pm、	金曜日は8:45pm～12:00pm
8月12日(月)	・・・	休み
8月13日(火)～8月15日(木)	・・・	9:00am～4:00pm
8月16日(金)	・・・	9:00am～12:00pm

図書室のスケジュール

夏期講座中の図書室のスケジュールをお知らせします。

夏期講座前半

返却日：	7月15日(月)・7月16日(火)
貸出期間：	7月17日(水)～7月22日(月)
返却期間：	7月23日(火)～7月26日(金)

夏期講座後半

返却日：	7月29日(月)・7月30日(火)
貸出期間：	7月31日(水)～8月5日(月)
返却期間：	8月6日(火)～8月9日(金)

学校をさらに良くするための
ご意見・ご提案を歓迎します。
お気軽に声をおかけください。
メールでも構いません。

hkotani@saniku.org

校長 小谷仁

mchiba@saniku.org

教頭 千葉学

プリスクールたんぽぽ組

本校プリスクール4歳児の両クラスが共に定員に達しました。これから、プリスクールを希望する場合にはウェイティングリストに名前を載せて頂くことになります。リストに名前を載せている園児に、2020年度5歳児ひまわり組に受験する優先権を与えます。

尚、ウェイティングリストに名前を載せる条件は、直ぐにでも入園が可能であることが条件となります。名前を載せているのに受験しない、あるいは入園しない場合は、ウェイティングリストから名前を削除します。

作文コンクール

作文コンクールの締め切りをお知らせします。

『てのひら文庫賞 読書感想文』

8月22日(木) 締め切り

『ベイスボ 2019年夏休みの思い出』

8月22日(木) 締め切り

お子さんのお迎え

本校では、お子さんの安全のために、「保護者がクラスまでお子さんを迎えに来ること」を原則としています。駐車している車の所までお子さんに来させるようなことはしないでください。ご協力をよろしくお願い致します。

お迎え時の駐車について

すでにメールでお知らせしましたが、お子さんを迎えにいらしたときには

① 小さなお子さん(弟妹さんを含む)をお持ちの保護者の皆さんは、Eastus Driveの学校側道路ならびに駐車場に駐車してください。すでに一杯の場合には、Marilla Avenue 沿いに駐車してください。

② ①以外の保護者の皆さんは、Marilla Avenue 沿いに駐車してください。

詳細は、「駐車に関するお知らせ」をお読みください。ご協力をお願いいたします。

下校時間

本校の方針は、「保育・授業後は速やかに静かに帰宅する」となっています。これは子供たちの安全と近隣の方々への配慮を考えてのことです。

学校のすべてのゲートは、夏期講座中は午後5時に閉じます。それ以後、学校から帰宅する場合には、倉庫を通過して外に出るようお願いします。

近隣との良い関係を築くために

本校の協力要請に対して、保護者の皆さん、そして子供たちが誠実に対応してくださっていることを心より感謝いたします。今後も引き続きご協力をお願い致します。配偶者の方(日本語を読めない方には特にお願いします)、また送り迎えをしてくださる方にもお伝えくださいますようお願いいたします。

ご協力頂きたいこと

① 住宅地では、ゆっくりと安全に運転しましょう

② 駐車場内、道路の学校側に駐車しましょう

③ 保育・授業・宿題クラブ後は直ちに帰宅しましょう

④ 学校内・駐車場・近隣の道路などでは、(特に6時半以降は)静かにしましょう

⑤ 近隣の方々に良い印象を持っていただけるよう心がけましょう

Eastus Driveの駐車場や、学校側の道路に駐車してください。

お子さんの安全に関して

お子さんの安全を守る上でお知らせしたいことがあります。保育・授業前と後でのお子さんと弟妹さんの安全は、保護者の責任となりますが、警備員や教師が最近見かけた光景は、保護者同士で話をしているときに、

➤ 子供が、木に登っているのを許している

➤ 子供が、正面ゲートや校舎横ゲートから出ていくのに気が付いていない

➤ 子供が、幼稚部遊具の遊具やフェンスを揺らす、登る

などです。お子さんの安全を確保するために、お子さんを保護者の管理下に置いてくださるようお願いします。

安全性を高めるために

ここ数年、Zuca と呼ばれる四輪付きの頑丈なバッグで本校に通うお子さんが増えてきました。四輪が付いているので、お子さんがそれに乗ったり、引っ張って走ったりして教室に向かう姿を見かけていましたが、小さなお子さんにぶつかりそうになる事態が発生していたようです。教師たちは、「危険なのでしない」ようにと、すでに子供たちに伝えました。保護者の皆さんにも、お子さんがZucaに乗ったり、引っ張って走ったりしないように、ご指導をお願いします。

三育校舎購入基金

本校が1982年7月にマウンテンビュー日本人教会で設立されて今年で37年となります。これまで幾つかの学校区の校舎を借りて運営を行ってききましたが、そろそろ自前の校舎が必要な時期に至ったのではないかと考えています。本校理事会はすでに三育校舎購入基金を設けており、ご寄付等を積み立ててきました。「企業からの募金」や「募金を喜んでくださる方々」に関して情報がありましたら、ぜひお知らせください。ご協力をよろしくお願い致します。

三育クワイア

三育の関係者を対象に、第2・4火曜日にクワイア(合唱隊)の練習を行っています。

時間:10:30am-12:30pm

場所:Campbell Seventh-Day Adventist Church (Campbell Ave と San Tomas Expy の角)

歌に興味のある方はこの機会に参加してみませんか?(経験は問いません)みんなで楽しく練習しています。見学ご希望の方は sanikufamilychoir@gmail.com までご連絡下さい。

英語による無料バイブルスタディー (2学期より再開します)

英語による無料バイブルスタディー

本校は、保護者向け無料「英語によるバイブルスタディー」クラスを行っています。肩の凝らない楽しい勉強ですので、英語を使う機会を増やしたい方、聖書に興味のある方はどなたでも、どうぞ気軽にご参加ください。本校の保護者でなくても参加できますので、お友達をお誘いください。

Bible Study in English (講師:Filipe Ferreira)	毎週月曜日	3:45pm ~ 4:45pm
English through the Bible(講師:鈴木晋平)	毎週水曜日	3:45pm ~ 4:45pm
Bible Study in English (休止中:参加希望者2名以上あり次第再開)	毎週木曜日	6:15pm ~ 7:15pm

ご希望の方は前もって事務にご連絡ください。

クラスの無い日もありますので、参加ご希望の方、またご質問のある方は事務までお問い合わせください。

心の港 (日本語による「聖書の学び」)

毎月一度 『愛のある子育て、悩み、相談教室

一緒にもっといいママになれるための研究

簡単で、美味しく健康な料理の情報交換の会』へご案内します。

主催者土屋光子さんの言葉: エレン・ジー・ホワイト夫人の言葉はいつでも私の心にひびいています。

『天国の最も美しい型-家庭という言葉が意味するおりのものにならなければならない。家庭は地上にある小さな天国、愛情をつとめておさえるところではなく、育てるところでなければならない。私たちの幸福は、お互いに対するこの愛と同情と真の礼儀を育てることにかかっている。』

『家庭の雰囲気的重要性-父親と母親の心を包んでいる雰囲気は、家庭全体に行き渡り、家庭のすべての部門において感じとられる。家庭の雰囲気は、ほとんど両親が作り出すものである。だから父親と母親が不和であれば、子供たちも同じような気持ちを持つ。優しい心遣いを示して、家庭のふんいきを楽しいものにしよう。』

電話をお待ちしています。

日時 : 10:00am~12:00pm 夏期休暇のためしばらくお休みし、9月9日に再開します。

昼食・交流の時間 : 12:00pm~ 2:00pm ランチとお喋りの会

場所 : 1542 Frontere Ave. Los Altos(Dr. 土屋宅) Phone: (650)948-2716

三育学院サンタクララ校ホームページ

本校は、大切な情報をホームページに出来るだけ早く載せるように心がけています。定期的に本校ホームページをご覧いただけると、様々な事務手続きの締め切り、本校の重要情報などを見逃すことがないと思います。どうぞご利用ください。ホームページのアドレスは www.saniku.org です。

三育学院サンタクララ校フェイスブック

幼稚部・小中学部のクラスや遊んでいる様子などを載せていますので、ぜひご覧ください。本校のホームページからフェイスブックに行くことができます。本校フェイスブックのフォロワーになっていただきたいと思います。

現在(2019年7月9日)フォロワー数は684人です。

<https://www.facebook.com/SanikuSantaClara/>

外務省「海外安全アプリ」

外務省は海外在留邦人の安全を守るために、スマートフォンにダウンロードできるアプリを開発し、それを使って旅行(3ヶ月以内)や在留(3ヶ月以上)の届けをするようにと勧めています。アプリで滞在先半径100kmの危険情報を入手することもできます。ぜひダウンロードして、ご利用ください。アプリの名前は「外務省 海外安全アプリ」です。

領事出張サービス

領事出張サービスでは、パスポート、各種証明、在外選挙登録申請などの受付・交付等を行います。

2019年4-12月の領事出張サービスは以下のとおりです。

是非、ご利用ください。

(現時点の予定であり、今後変更が生じる可能性があります。事前に必ず領事館ホームページをご確認ください。)

◇カリフォルニア州サンノゼ市

申請のみ : 2019年 9月26日(木)

交付のみ : 2019年 11月13日(水)

時間 : 午前10時30分~午後3時、あるいは4時(webでご確認ください)

※各出張サービスの詳細については、会場等が確定次第、ホームページ及びフェイスブックに掲載致します。

※出張サービスでは、例えば現金及び小切手は使用不可、マネーオーダーのみのお支払いとなるなど取り扱いが異なりますので、必ず詳細ページをご覧ください。

※「申請日」と「交付日」が分かれております。申請日に交付、交付日に申請を行うことはできません。

※「サンノゼ会場」で旅券申請を受け付ける場合、サンフランシスコ総領事館での交付は最短で2週間後となります。

す。

※在留届をまだ出されていない方や住所変更などがある場合は、事前に在留届の手続きをするようお願い致します。
(インターネットからの届出が便利です。)

●問い合わせ先

(415)780-6000 (内線 6097~6099)

ホームページ: http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

大学進学セミナー:アスリートの大学進学とファイナンシャルエイド

アメリカの大学は、高校でスポーツに取り組み、大学でもスポーツを続ける学生を高く評価します。学業とスポーツを両立させようと努力する学生は、人間として大きく成長できます。

今回のアメリカ大学進学セミナーでは、アスリートの大学進学についてお話しします。アメリカの大学は、プロを目指すトップアスリートから、学業重視で合間に取り組む学生まで、様々なアスリートに活躍の機会を提供しています。とはいえ、全米の高校でアスリートとして活動している800万人のうちNCAAのアスリートになるのはわずか6パーセントです。その6パーセントに入るための準備についてご説明します。また、実際に大学でアスリートとして活躍している学生をゲストに招いて、進学準備や学生生活をご紹介します。

さらに、ファイナンシャルエイドについてのお話しをします。ニードベース、メリットベースの奨学金制度や、アスリートを対象としたアスレティックスカラシップなど、学費軽減の戦略について、ケーススタディーを交えてご説明します。

開催日 : 7月26日(金)
場所 : 三育学院サンタクララ校メディアセンター
時間 : 1:45pm~2:00pm 受付
2:00pm~4:00pm 説明会

セミナーの内容

- ニードとメリット、奨学金の基礎知識
- 学費を考慮した進学準備の進め方
- アスリートのリクルーティング対策
- アスリートの奨学金と進学準備
- Division I アスリートへのインタビュー

日能研主催学校説明会

日能研主催により、学校説明会が行われます。奮ってご参加ください。

開催日 : 9月13日(金)
場所 : 三育学院サンタクララ校メディアセンター
時間 : 9:45am~10:00am 受付
10:00am~ 説明会
参加校 : サレジオ学院(神奈川県にあるカトリック系男子進学校)
清泉女学院(神奈川県にあるカトリック系女子校)
栄東(埼玉県N01に進学校)

国際基督教大学付属高校説明会

国際基督教大学付属高校の学校説明会が行われます。平日の午後に行われる理由は、生徒の参加を強く希望しているからです。お子様と一緒にご参加ください。

開催日 : 9月20日(金)
場所 : 三育学院サンタクララ校メディアセンター
時間 : 4:00pm~4:30pm 受付
4:30pm~5:50pm 説明会
申込 : https://icu-h.ed.jp/news/archives/190625_002096.html